

長野市放課後子ども総合プラン事業自己評価実施要領及び自己評価シートに関する  
ご意見の要旨と市の考え方(意見募集期間 平成30年10月25日～11月5日)

区分	ご意見の要旨	市の考え方
評価の在り方	1 自己評価は、各施設ごとに行っていることを見直すという意味からも大切である。自己評価を通して、できるだけサービスの統一を図っていかれるよう、今後の施設の役割やあり方等も少しずつ明確になれば良いと思う。	自己評価は、業務の内容を点検・評価し、問題点や今後の取り組みを職員全員で検討することにより、運営内容の向上を図ることを目的としており、評価を通して、職員の資質向上や意識改革などの効果が期待できるものと考えています。
	2 子どもと接している以上、職員一人一人の責任は重いと思う。自己評価を踏まえて館長・施設長との面談でさらに資質向上が図られるよう、職員の意識改革に役立てるステップアップとして実のあるものにしていただきたい。	
	3 自己評価シートに記載されている文言の共通理解が必要である。例えば人権とは、人格を尊重するとは、児童が安心して過ごすとは、また、「児童の様子を日常的に保護者に伝え」とあるが、何をどう伝えるかによって児童にとって不利益になる場合もある。共通理解のための研修が必要である。	職員研修を通して、職員の倫理意識の向上と児童への支援の充実を図ってまいります。
実施要領	4 自己評価実施要領を設けたことで、評価を実施する目的が明確になり、良くなった。	実施要領の表記について一部見直しをいたしました。
	5 実施要領と自己評価シート分けることにより、自己評価の目的が理解しやすくなった。また、自己評価シートが見やすくなり、記入も楽になった。	
	6 評価要領2の(3)中の「なるべく」は必要ないのではないか。施設長一人で評価することを避け、施設の職員会議などで、評価を通じてプラン事業のガイドラインを思い起こしてもらうことも、評価を行う一つの目的である。そのためにも、職員全体で考えて評価を行う必要がある。	ご意見を踏まえ、評価要領2の(3)中「なるべく多くの職員が参加し」を「施設の職員全員が参加することを原則として」に改めます。
評価シート	7 自己評価シートの修正案は、全体的にすっきりとまとめられていて良い。評価項目が7つに区切られ、コメント欄もゆったりとられているため、次年度に生かせる評価となり得る。	このたび、評価項目2、評価項目3、評価項目6の評価基準欄に網掛けを追加し、より分かりやすくなるよう配慮しました。
	8 自己評価シートは、大変わかりやすく、よくまとめられている。	
	9 項目の移動したことにより分かりやすくなり、評価しやすくなった。評価の内容よりも、1年間を振り返り評価する機会があるということが大事である。	
	10 コメント欄も広くなり良い。	
	11 各評価項目にコメント欄を設けたことは評価できる。例えば評価が△や×があっても、その点について、どのような現状があるのか、どのように改善するのかなどの考え方が記入できる。(翌年の評価につなげることができる。)	

区分	ご意見の要旨	市の考え方
	12 「自己評価」は、自分自身を良く知ることが前提でなければ意味がないと思う。自分の思考や判断力、問題点などを整理し明確にできるようにするためには○、×、△の記入はどうかと思う。	コメント欄に評価の理由を記入いただくよう、コメント欄の記載を改めました。
	13 去年がどうだったかなど比較できるものがあれば、自分の成長や課題が分かりやすくなる。	前回の評価結果との比較については、来年度以降の課題とします。
	14 「なるべく多くの職員が参加し」とあるが、誰が責任を持って評価したのか分からないので、関わった方が記名する欄があってもいい。	評価には、施設の職員全員が参加することを原則としますので、職員の記名欄は設けないとします。
	15 評価項目3の⑨で、「遊びや生活の流れ、児童の状態」の「流れ」「状態」は、表現があいまいであり、評価者個々の解釈で都合良く評価されるかもしれない。	評価項目・評価指標は、ガイドランに沿った内容としておりますので、ガイドラインの表記に合わせ、現行どおりとします。
	16 評価項目4の①～④の「障害」は、「障がい」と表記する例が増えてきている。	
	17 評価項目4-⑥「いじめ等の問題が生じた時は、速やかに」の後に、「児童に対応するとともに」を加えてほしい。	
	18 評価項目7の②「～気持ちを受け止め」後に「適切に」又は「丁寧に」などの言葉がほしい。	
	19 評価項目に「職員(施設長を含む)同士、お互いに率直な意見を伝え合うことができる」という項目を評価指標に加えてほしい。	
	20 評価項目4の④の「加配」については、もう少し違う表現の方が良いのではないかと。例として「関係機関と連携し加配に努めている。」などが考えられる。	「児童の状況に応じて職員を加配するなどしている。」を「児童の状況に応じた職員の配置や加配に努めている。」に改めます。
結果の公表	21 公表する際の簡略版について、詳しい内容を見たいと施設に申し出るのは、一般的にハードルが高いと感じる。	ご意見を踏まえ、施設では自己評価シートの全てを対象として公表に努めることとし、評価要領を修正いたします。
	22 公表する簡略化の別表について、これだけでは一般の人は全く中身が理解できないのではないかと。施設に申し出る勇気のある人はいないに等しく、公表する意味がない。 ガイドライン自体は公表されており、評価がきちんと公表されることが必要だと思う。公表によって施設利用者からの改善提案なども期待できる。	
	23 「公表」する必要性については疑問が残る。昨今、人の評価ばかり無責任に言ったり書き込みしたりしている。そんな世の中で子供達はのびのびと自分らしく生きていくことができるか。	